

(株)苫東 第24回経営諮問委員会の概要

令和3年5月25日に予定していた第24回経営諮問委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会議形式の委員会開催を見送り、書面開催とした。

1 委員 9名

2 議題

- (1) 委員長代理の選出
- (2) 最近の主な動き
- (3) 令和2年度経営概況について
- (4) 令和3年度事業計画等について
- (5) 苫東地域の今後のプロジェクト展開～「食」と「エネルギー」

3 委員からの主な意見

□「食」と「エネルギー」にかかるプロジェクト検討は、苫東地域および立地企業等の特性を十分に踏まえつつ、関係者と連携し、役割分担等を十分に認識し進めていただきたい。

□「食」に関しては、フードコンプレックスは今後ますます重要であり、ロジスティクスの観点から冷凍冷蔵庫の立地する港湾と空港との連携が大事である。また、植物工場についても国内で一定の規模感があり、現実的な取組をしている付加価値の高いプロジェクトとしてアピールできるものである。

□「エネルギー」に関しては、電力の本州との相互融通が重要であり、電力会社等との協力の下、エネルギー戦略において苫東がまとめ役となるなど役割を強く意識してほしい。

□コロナ禍の教訓として東京・首都圏への集中があり、今後は分散型ネットワーク経営にシフトしていくこと、また国で半導体やデータセンター等のデジタル産業への戦略検討が進んでいることから、苫東でもデジタルニーズに応え同産業の誘致を促進すべくインフラを整備する対応が必要ではないか。

□国のプロジェクト誘致に向けて、カーボンニュートラル関連やデジタル産業関連の要望を積極的に行い、実現に向けて取り組んでいただきたい。

□エネルギー関連の展開については、苫東会社や電力会社だけの取組でなく経済団体や自治体との連携の下、提言や協議会などにも参画し北海道全体の取組として進めていただきたい。

□苫東は自然と共生できる珍しい工業団地であり、大きな特長として PR できる。SDGs の観点からも、環境に配慮した苫東開発に取り組んでいただきたい。

□風力発電の部品は海外製であるが、電力は産業を支えているものであり、リスク管理の観点からも施設や部品の製造・メンテナンスを行う国内企業を育成すべきであり、苫東に立地が進むとよい。

□昨年度の方譲は、「苫小牧東部地域開発の進め方[第3期]」に基づいた苫東地域の優位性の活用や強靱な国土づくり等への貢献を図る産業や事業の誘致を実現しており評価できる。

□昨年度で北海道胆振東部地震に伴う災害復旧対応が終了したことから、方譲に向けて中長期的に必要なインフラ投資を戦略性、計画性をもって着実に進めていただきたい。

以上